7月27日

白糠の夏の風物詩

厳島神社例大祭「海中みこし」

白糠厳島神社例大祭の名物行事「海中みこし」が今年も行われました。

２日間にわたり町内を練り歩いたみこしは、威勢のいい掛け声とともに海中に入り、海の安全と豊漁を祈願しました。

太平洋の荒波をかき分け練り歩く担ぎ手に、大勢の見物客から大きな歓声と拍手が送られていました。



気合を込めて海岸を練り歩く担ぎ手たち

海中みこしの会場を整備

７月24日、「海中みこし」を前に、会場となる白糠漁港前浜の清掃と整備が行われました。

白糠神輿会（沢木亮太会長）と白糠漁協青年部（日下博史部長）の40人が砂浜の清掃を行い、有限会社高原重機（片山辰夫社長）の職員が重機を使い、海岸へ続く通路を整備しました。



7月30日～8月2日

白糠町の歴史や文化に触れる

八王子市･白糠町子ども交流事業

町と江戸時代から歴史的つながりのある東京都八王子市との交流事業が町内で行われ、白糠の小学生13人と同市の小学生15人が交流を深めました。

同事業では、ウレシパチセでアイヌのムックリや輪踊りなどを学んだほか、今年７月に完成した津波避難タワーを見学しました。子どもたちは、交流を通じてアイヌ文化や防災について理解を深めました。



輪踊りを一緒に踊り笑顔の子どもたち

7月18日

私たちの生活が未来を変える

環境講演会

町内の中学生と高校生を対象とした環境講演会が、白糠高校体育館で開かれました。

講演会では、環境省地球環境局地球温暖化対策課の程藍（ていらん）さんが講師を務め、地球温暖化対策や脱炭素につながるエコな活動「デコ活」について説明をしました。

程さんは「ＬＥＤや省エネ家電の使用、食品ロスの削減、節電・節水などを心がけて」と呼びかけました。



「我慢ではなく、暮らしを豊かにする取り組みを」と程さん

8月3日

みんなの笑顔が集まる場所、月４回に

陽向ぼっこ「こども食堂・地域食堂」

ＮＰＯ陽向ぼっこ（儀同一義代表理事）の「こども食堂・地域食堂」は、８月から月４回の開催となりました。（令和８年１月まで）

皆さん、どうぞお気軽にお越しください。

日　時／毎月第１～第４日曜日の11時から14時まで

※数に限りがありますので、無くなり次第終了します

料　金／小学６年生以下は無料、中学生以上300円/回

場　所／東１条南１丁目２番地36

問合先／NPO法人陽向ぼっこ　☎６－０４０４



全国食支援活動協力会の助成金を活用し、実施しています

8月2日･3日

出会いのきっかけ、白糠で

婚活イベント「そうしそうあい」

男女の出会いの場を提供する婚活イベント「そうしそうあい」が町内で開催され、24人が参加しました。

参加者は地元食材のバーベキューや恋問館見学、恋問海岸の散策などを通じて交流し、２日間で親睦を深めました。結果は、４組の男女がカップリングするなどすてきな出会いが生まれました。参加者は「楽しい思い出になった」と笑顔で話していました。



参加者は終始和やかな雰囲気で交流していました

7月24日

令和７年度

社会を明るくする運動入選標語

令和７年度の社会を明るくする運動の入選標語に９作品が選ばれました。

今年度集まった作品は106点で、代表標語は白糠学園６年生の田中悠晴さんの作品が選ばれました。

７月24日、白糠学園で表彰式が行われ、田中さんと入選標語に選ばれた北村美怜さん（５年）、佐々木まいさん（７年）、中村心駿さん（９年）に川島眞澄教育長から賞状と記念品が手渡されました。



左から蠣崎校長、佐々木さん、北村さん、中村さん、田中さん、川島教育長

★代表標語	「話そうよ　自分が抱える　つらい事」	白糠学園６年	田　中　悠晴（ゆうせい）　さん
★入選標語	「あいさつは　笑顔がふえる　第一歩」	白糠学園５年	北　村　美怜（みれい）　さん
	「ネットでも　伝えられるよ　ＳＯＳ」	白糠学園７年	佐々木　ま　い　さん
	「助け合おう　ひとりじゃないよ　声かけて」	白糠学園９年	中　村　心駿（あいと）　さん
	「作ろうよ　みんなのための　かんきょうを」	茶路小学校４年	對　木　彩希菜（あきな）　さん
	「『もうしない』　気づいた時には　もうおそい」	庶路学園６年	佐　藤　朝陽（あさひ）　さん
	「励ましは　みんなを繋ぐ　バトンです」	庶路学園９年	三　栖　絆喜（きずき）　さん
	「やめようよ　『ノリ』で済まない　その行為」	白糠高等学校２年	上　野　紫衣（しえ）　さん
	「ひとりじゃない　支える環境　地域の力」	白糠高等学校３年	栗　田　丈琉（たける）　さん